

八学大ラグビー部 東北V

八戸 市長に喜び報告



小林市長（左端）に東北地区大学ラグビーリーグでの優勝を報告する選手ら

八戸学院大の男子ラグビー部の学生ら5人が10月23日、八戸市庁に小林眞市長を訪ね、東北地区大学ラグビーリーグでの優勝を報告した。

リーグは9月1日～10月20日まで東北各地で行われ、同チームは5大学と対戦。それぞれの試合で勝利を収め、4年ぶり2回目の優勝を果たした。11月3日に宮城県で行われる東北・北海道代表決定戦に出場し、全国大会出場を懸けて北海道大と対戦する。

市庁を訪れたのは坂本宇大主将、阿部健悟主将、工藤祐太郎監督、山下祐史へ

ツドコーチ、奥山勝也主務。工藤監督は「東北大会ではノートライに抑える試合が多く、日々の練習が優勝につながった」と話した。小林市長は「全国大会出場に向けて、北海道大戦でも活躍を見せてほしい」とエールを送った。

取材に、坂本主将は「相手のトライ数を抑え、しっかりと勝ちきることができた。優勝できてうれしい」。阿部主将は「今年のチームは冬から強化してきたディフェンスが持ち味。北海道大戦でも練習の成果を発揮し、試合を楽しみたい」と抱負を語った。（工藤慎子）